

岐阜県委託事業

座談会

刃物づくりに欠かせない「炭」について考える

2026年3月5日（木）15:30～17:30

せきてらす 多目的ホール

（一社）技の環は岐阜県からの委託を受けて、伝統技術の継承に関わる様々な課題の解決をサポートする活動を行っています。今年度は特に、関の刀匠や道具を作る鍛冶職人が使う「松炭」の供給が不安定になり価格が高騰しているという声を受け、炭の生産や流通の状況を詳しく調査しました。その内容を報告するとともに、岩手県と岡山県から炭焼き職人を招いて、刀匠や鍛冶職人のみなさんと座談会を開きます。

スケジュール 15:30 第1部：「匠の国ぎふ」の技を支える相談事業 2025年度の実績報告
(開場 15:15) 16:00 第2部： 刃物づくりに欠かせない「炭」について考える

話し手

畑 真樹さん (写真左)
炭焼き職人 岩手県洋野町



藤元 優惠さん (写真右)
炭焼き職人 岡山県瀬戸内市
(同)伝統工芸木炭生産技術保存会



二十六代 藤原 兼房さん
刀匠 関市

佐野元治さん
野鍛冶/貝印(株)技術顧問 御嵩町

聞き手

久津輪 雅
(一社)技の環 代表理事/岐阜県立森林文化アカデミー教授



参加費無料・定員30人

申込方法

左の申込みフォーム（QRコード）にてお申込みください。
締め切り 3月2日（月）

会場

せきてらす（関市平和通4丁目12番地1）

主催

一般社団法人 技の環

お問合せ

contact@ginowa.org
080-4401-6872（技の環）

※申込み多数の場合、炭焼き事業者、刀匠・鍛冶職人など、関係者の方を優先させていただきます。ご了承ください。